

クローズアップ 多摩地区の 注目企業を紹介 カンパニー-2014

第245回 株式会社フォレストリ

■中国で生まれ、日本とアメリカで生活

(株)フォレストリは、中国上海市と立川市を拠点に、両国のビジネスを支援する会社である。

森社長は中国山東省出身の上海育ち。日本の大学を卒業後、アメリカに留学している。日本の大企業で貿易業務に従事した後、独立して当社を設立した。

アメリカに留学していた時にスーパーマーケットで健康食品を販売していたことに着想を得て、多摩地区のスーパーマーケットに直談判し、陳列棚を確保した。今では健康食品がスーパーマーケットで販売されているのは珍しくないが、当時は先進的なアイデアだった。

今でも健康食品の販売が当社のビジネスの大黒柱である。

■中国政府、上海市人民政府とパイプ

それよりも、(株)フォレストリの最大の特徴は、中国政府と上海市人民政府とのパイプである。今年4月に上海市で開催された「第2回中国(上海)国際技術輸出入交易会」では、日本側企業の窓口業務を受託したことからも、その力量を押し量れる。

■日本でも経済界、行政とパイプ

日本国内においても「TAMA協会」(一般社団法人首都圏産業活性化協会、八王子市)の



「上海事務所展示室」

2010年3月における上海事務所の開設に尽力した。同事務所は上海市工業商業連合会ビルに所在し、日本語を話せる中国人スタッフが常駐する。日中企業間の連絡代行や展示ブースによる日本企業の製品展示、展示会出展手続きの代行や商談支援等を行って(一部有料サービス)おり、神奈川県から埼玉県に広がる広域多摩地区企業と上海産業界の架け橋となった。

同様に、2013年5月には川崎市が同市内の企業向けに設けた「川崎中小企業上海合同事務所」も同じビルに開設された。

日中双方での経済界や行政との連携は、当社の信用程度を高める効果となっている。

■日本の製品の品質をアピール

2007年からは、日本の中小製造業各社と中国企業とのマッチングビジネスを本格化させている。日本の製造業のモノ作りに懸ける想いを中



「日本事務所」

クローズアップカンパニー-2014

国に伝え、現在も多くの中小製造業各社の中国窓口となっている。

従前は、中国製の食品を輸入して日本の会社に売っていたが、食の安全性の点で敬遠される傾向もあり、今では日本の食品製造業の海外進出を支援している。

現在、(株)フォレストリが注力しているのが、日本の大手百貨店の上海への進出の支援。同店は日本資本が入らないものの地元の大資本との業務提携により日本の百貨店の名前が冠された、富裕層と中間層をターゲットとした大型店舗。(株)フォレストリは、日本の高品質の食品を紹介するアンテナショップに、日本の菓子メーカーなどを紹介している。

昨今は中国人旅行客の間で北海道が人気のため、北海道の物産も目玉商品の一つである。また、日本の有名パティシエの監修するロールケーキも出品される。このロールケーキはテレビ番組などで何度も取り上げられた逸品で、アンテナショップに職人が常駐し、作りたてを提供して日本の製菓技術の高さをアピールする場になる。

■「プロデュース」力が真骨頂

森社長は、自らを単なる通訳者ではなく、(株)フォレストリも単なるコーディネーターの存在とはしていない。

別々のシーンで関わった会社同士を、新たに

紹介するビジネスマッチングを行ったり、新しいビジネスチャンスの可能性を提案する「プロデュース」力の強さが(株)フォレストリの真骨頂だ。森社長の誠実な人柄と頭の回転の速さが、多くの人を巻き込んで強い渦を創り、ビジネスチャンスを求める企業・人に対し、予想よりも大きな果実が転がり込む。

一方で森社長は、日本の企業について「日本人は通訳者に頼ることが多いが、通訳者=経営者ではない。欧米人は地元の中国人に経営を任せており、大きな違いがある」と辛口の指摘もする。



「森社長」

昨今の日中関係はギクシャクしているが、混乱や摩擦は誰も望んでいない。今だからこそ、上海に飛ばせば大きな可能性が見えてくるはずだ。森社長が「マッチング後のアフターフォローが一番大事」とサポートしてくれる。



「上海事務所風景」

会社名	株式会社フォレストリ
代表取締役	森はるか氏
所在地	立川市柴崎町2-3-17
電話	042-570-6625
FAX	042-521-6626
設立	2000年(平成12年)10月
資本金	1000万円
企業コード	970112286
URL	: http://www.forestlee.co.jp